

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。カシャ!!
 情報交流課 ☎0040 ✉koho@city.makinohara.lg.jp



店先で野菜や花を選ぶ地元住民

地元商店が協力し買い物難民支援へ

■地頭方マルシェ

地元商店有志による「地頭方マルシェ」が2月16日から始まり、毎週月、水、金曜日に定期開催されています。

2年前に地域で唯一のスーパーマーケットが閉店し、車で移動できない高齢者などの買い物難民を支援しようと、地元の農家や飲食店が企画したもの。初日は8店舗が並び、多くの住民が総菜や野菜などを買い求めていました。発起人の山下恵巳さんは、「今後もさまざまな職種の人と協力し販売を継続していきたい」と話しました。

障がいのある人もない人も防災を考慮

■福祉防災講座「さ～！ぼうさい体験会！2024」

福祉防災講座「さ～！ぼうさい体験会！2024」が2月17日、相良原子力防災センター「サーボ」で開催されました。

障がいのある人にも対応した防災対策を推進するため、市障害者自立支援ネットワークが例年主催しているもので、障がいのある人やその家族、支援者、関係者など約100人が参加。火災避難訓練や避難所生活の体験、簡易トイレの組み立て、防災講座などが行われ、参加者は実際に災害が起きた時の対応や課題などを一緒に考えました。



煙体験ハウスで模擬の煙を体験する参加者

豊作を願う祈りの舞 厳かに

■国指定重要無形民俗文化財「蛭ヶ谷の田遊び」

国指定重要無形民俗文化財「蛭ヶ谷の田遊び」が2月10日、蛭児神社（中里区）で行われました。

神事では、五穀豊穡と子孫繁栄を願い、かがり火の前で「ほた引き」「本刀振り」などの儀式や「田打ち」「田植え」「稲刈り」など農作業の様子を模した計17演目が、約5時間かけて奉納されました。氏子の成年男子が語りと所作のみで伝統の舞を披露すると、見物客は静かに見守りました。

最後には「ほた小僧」と呼ばれる杉の束で作られた人形が本殿脇の桜の木に結わえられました。



本殿前の石段を田に見立て鎌で行う「田打ち」



3年ぶりに、榊の葉を口にくわえ御神体などを運ぶ行列が行われた

御神体を守り五穀豊穡を願う

■県指定無形民俗文化財「一幡神社の御榊神事」

一幡神社（菅山地区）に伝わる県指定無形民俗文化財「御榊神事」が、2月10日と11日に行われました。

毎年2月に五穀豊穡を願い行われる行事で、二十八名と呼ばれる地元の特定の家が主催しているもの。神事の従事者らは、御神体である「御榊様」（あられ状の餅と榊の葉を、竹のすのこに包み榊の枝に吊るしたもの）を神社に運び、中身を開き、今年の吉凶を占いました。その後、翌年のために御榊様が作られ、翌年の豊作を願いました。



号砲とともに一斉にスタートする2kmの部の出場者

早春の田沼路を駆け抜ける

■第67回田沼意次牧之原市マラソン大会

第67回田沼意次牧之原市マラソン大会が2月4日、市役所相良庁舎周辺を舞台に開催され、市内外から約500人が出場しました。市内で合宿していた台湾少年サッカーチームや牧之原警察署の警察官なども参加しました。

コースは2kmと5kmの2部門が行われ、タイム計測や表彰を行わずイベント性を高めた大会として開催。あいにくの雨模様でしたが力走する選手たちに、沿道の大勢の住民から温かい声援が送られました。

梅咲き誇る 一足早い春の景色

■相良梅園

相良梅園（片浜区）が2月6日から2月20日まで開園し、多くの来場者でにぎわいました。

訪れた観光客は、山の起伏を生かした約1.5ヘクタールの敷地に咲く寒紅梅や白加賀、南高、しだれ梅など20品種、約700本の色鮮やかな梅の花を楽しみました。

また同園では、地元産の採れたて大根や芋切り干し、焼き芋などの地場産品が販売されたほか、入場者には自家製の梅干しがお土産としてプレゼントされました。



うれしそうに梅の花を眺める子どもら

色とりどりに子の健やかな成長願う

■大鐘家「つるし飾り展」

つるし飾り展が5月中旬まで、国指定重要文化財「大鐘家」（片浜区）で開かれています。

つるし飾りは、子どもの健やかな成長を願い、桃の節句のひな壇の両側に、はぎれで作った手縫いのぬいぐるみをつるす風習で、別名「桃飾り」とも呼ばれています。

期間中は、近隣市町の手芸愛好家が手作りした雛人形や、羽子板、小袋、着物など約100点が展示されており、江戸時代の古民家に鮮やかに飾られた風情を楽しむことができます。



色とりどりのつるし雛を鑑賞する来客者



日頃の練習の成果を元気に発表するキッズダンスチーム

学びや交流の祭典 にぎやかに

■第1回 まきのほら塾発表会「まき塾フェス」

第1回 まきのほら塾発表会「まき塾フェス」が2月3日と4日に、い〜らで開催されました。同塾は、旧町で活発に実施していた田沼塾とはりはら塾が1つになり、今年度からスタートしたものです。

キッズダンスや三味線、太極拳、ヨガなどの舞台発表の他、生花、書道、郷土史などの展示や各種楽器の演奏や茶道の体験も行われ、たくさんの来場者で賑わいました。塾長の原木信子さんは「市一丸となって地域を盛り上げたい」と話しました。